



シラスうなぎ漁の漁獲増大を！ 大崎採捕組合がうなぎを放流



7月18日(土)、菱田川上流と田原川中流において、大崎採捕組合と有明しらす組合、志布志養鰻組合の皆さんが、うなぎを放流しました。

これは、うなぎの帰巢本能を利用し、12月に解禁となるシラスうなぎ漁での漁獲を増大させることを目的に毎年実施されています。

今回は災害によりビニールシートを使用しながら約715キロ(約3,700匹)を放流し、シラスうなぎ漁での漁獲量増大を願いました。

新工場建設の安全を願いました 九州エクス(株)が地鎮祭を挙げる



7月29日(水)、九州エクス株式会社の新工場にかかる建設工事の地鎮祭が行われました。

これは1月29日に町と九州エクス株式会社が交わした立地協定に基づき、菱田地区に建設されるものです。地鎮祭は新型コロナウイルス感染防止のため、規模を縮小し行われました。

同社代表取締役社長の鳥居研志さんは「建設に際しまして、菱田地区の農畜産業に係る皆さまに感謝申し上げます。完成予定の令和3年5月31日まで、工事の安全と工場の無事完成を心より祈念いたします」と述べられました。

うなぎを食べて元気もりもり！ 大丸保育園でうなぎ給食



7月17日(金)、大丸保育園において、うなぎを使用した給食がありました。

これは、土用の丑の日を控え養鰻業者である保護者から、約60匹分のうなぎの提供を受け行われたもので、約40人の園児がうなぎを食しました。

うなぎを食べた近藤歌琳さん(5歳)は「この日を楽しみにしていたのでとても美味しかったです」と感想を述べてくれました。

地元の食材で地産地消 土用の丑の日にうなぎ給食



7月21日(火)、土用の丑の日に合わせ町内の全小・中学校でうなぎを使用した給食がありました。

これは地産地消を目的に食育教育の一環で実施され、毎年行われています。

食べた感想を持留小学校の永田楓佳さん(5年生)に聞くと「厚みがあってふわふわしてとても美味しかったです」と話してくれました。